

2023 年度年次総会のご報告

2023 年度の年次総会が 10 月 21 日に開催されました。出席して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。総会ではまず、辻川管理運営委員長が現在の学校経営の課題を説明し、続いて三原校長が国語力向上ベーシックプランの進捗状況などについて報告しました。また、今年度新たに設立された小委員会と各部からの活動報告に続き、質疑応答時には安全管理対策や実力テストなどに関するご質問とご意見をいただきました。総会の資料は、本校ウェブサイト[保護者ページ](#)の「総会・保護者説明会」をご覧ください。議事録も完成次第、掲載する予定です。



小ホールの改装を受け、今回初めて 4 階図書室にて本格的な学校行事を開催しました。出席された皆様は、どのような印象を持たれたでしょうか。また、総会前に待機室を設けたほか、総会後には保護者交流サロンも開催するなど、より多くの方が総会に参加しやすくなる工夫とともに、保護者が集う場としての試みも行いました。今後も皆様のご要望にお応えできるように今回の年次総会についてのアンケート(<https://forms.gle/txRo5tSfy7AKfEKa6>)を作成しましたので、ぜひ皆様のお考えをお聞かせください。欠席された方も、その理由やご希望について教えていただけますと、今後の参考にいたします。

管理運営委員会は、3 名の新委員を仲間に迎えて新たな体制で後期をスタートしました。引き続き、生徒が充実した学校生活を送れるよう取り組むとともに、創立 65 周年となる今年度が日本語学校の未来へ繋いでいく節目となるように努めてまいります。今期も保護者・教職員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

2023 年度後期管理運営委員会のメンバー紹介



牛嶋（財務部）



福嶋（教育人事部）



渡辺（特別委員）

最後列左より：大島・塩崎・片田・栗原（教育人事部）

3 列目左より：島・向山・大島（学年代表）、河野・竹内（広報部）

2 列目左より：松林・大杉・松田・竹村・鶴見（総務部）、

最前列左より：村田（特別委員）、小寺（副委員長）、三原校長、辻川（委員長）、

グリフィン（財務部）、田寄事務局長（特別委員）

新委員の紹介



大島千枝
(低学年代表)

この度、低学年代表を務めさせていただくことになりました、大島千枝と申します。日本語学校には 2018 年よりお世話になっており、知り合いの方々が運営委員として頑張っているのを見てきて、私も微力ながらお手伝いをしてみようと思いました。ワシントン DC 在住歴も 20 年を超えましたが、引き続き新しい出会いや繋がりを大切にしながら、学校運営に貢献していけたらと思っています。



鶴見圭祐
(総務部)

日本語学校には、小 5 の息子が現在お世話になっております。アメリカには昨年 4 月より、ベセスダ郊外に家族で住んでおります。息子の現地校への適応のため、昨年の秋から今年の春まで半年間ほどボランティアで授業に参加し、補助をしておりました。加えて、土曜日の日本語学校に向けて毎日、日本語の宿題に親子で取り組んでまいりました。日本では、教育は学校に任せきりでしたが、こちらでは親も主体的に取り組む必要があり、改めて親として責任の重さを感じる毎日です。そのような中、この度運営委員会の総務の役目を頂きました。子どもたちにとって一番良い学習環境を提供できるよう、皆様のお力になりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



松田真実
(総務部)

私は、何十年も前に指導していただいた先生のことをふと急に思い出す時があり、尊敬の念に堪えない人との出会いは私にとっても息子にとっても一生の宝物だと思っています。そして教育やアメリカでの生活で悩んでいるときに 日本語学校で出会ったお友達やそのご家族との繋がりは、いつも大きな心の支えになっております。真剣に生徒と向き合っていて指導していただくと同時に日本語学習のみでなく、いろいろな面で支えていただいている先生方や学校運営にかかわる方、学校のお友達には大変感謝しております。私も何か少しでも貢献させていただくことができれば大変嬉しいです。人より不器用ですが、頑張りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

【締め切り延長！】 創立 65 周年記念事業「未来を創れ！」作品募集のお知らせ

創立 65 周年小委員会では、創立 65 周年記念事業「未来を創れ！」の一環として、在校生を対象にワシントン日本語学校に対する思い、学校生活で頑張っていること、日本語学校での経験を生かした将来の夢などをテーマにした、作文・詩・短歌・俳句・川柳・絵・絵日記・書道などの作品を募集しています。

応募作品は、未来の日本語学校に向けたデジタル作品集になります。皆さんの豊かな感性を発表する機会として、創作作品集に参加してみませんか？授業で制作した作品も応募可能ですので奮ってご参加ください。



【応募資格】 幼稚部から高等部までの本校在校生徒

【応募期間】 9 月 9 日（土）～12 月 31 日（日）

（締め切りを延長しました）

☆応募方法等、詳細については[本校 HP65 周年記念ページ](#)をご覧ください。

お問い合わせは 65 周年記念事業実行小委員会 65th@wjls.org まで。

創立 65 周年記念特別企画「未来を創れ！」世界に羽ばたく同窓生の今

創立 65 周年を記念してワシントン日本語学校の同窓生をアンケート形式で紹介するシリーズ企画。幅広い分野で本校の同窓生が活躍する様子をお伝えします。どのように本校での経験を未来に繋げていったのでしょうか。



さかぐち たくま
阪口 琢磨さん

在籍した時期：小学部 5 年生から中学部 2 年生までの約 3 年間（1990 年～1993 年）

出身大学：東京大学

現在の仕事：2002 年に外務省に入省、現在は内閣官房に出向中。

これまでにメキシコやエジプトなど 4 か国の在外公館での勤務を経験。

Q. 日本語学校はどんな存在でしたか？楽しかった思い出は？

初めての海外暮らしで右も左もわからない中、週に 1 回気兼ねなく同級生とコミュニケーションがとれる、ほっとできる場所でした。授業・教材（ベータのビデオ！）・お昼休み・図書室など、楽しい思い出ばかりです。教室めがけて雪合戦して、当時の担任の先生に随分怒られた記憶も…



小学校卒業時

Q. 日本語学校での経験が役立っていると思うことは？

漠とした形でも国際関係に触れたことは、その後外交の世界に飛び込むきっかけの一つになったと思っています。ワシントン DC エリアで生活したのは約 3 年でしたが、海外生活は就職前も含めれば通算で 12 年を超えました。海外生活で外国語を使うことは大事ですが、実は「伝えたいこと」がないと、どんなこともうまく伝わりません。私の場合、日本語で「伝えたいこと」を一生懸命考える癖を日本語学校での学習を通じて培っていたように思います。

Q. 日本帰国後、進学校に編入されたとうかがいました。在米中はどのように勉強していましたか？

渡米した当初は進学に強い関心はなかったのですが、小 6 の中学受験シーズンに一時帰国する同級生も多く、いい意味で刺激になったと思います。在米中は補習校や現地校の授業で手いっぱい、受験勉強は帰国してから本番まで 1 か月なかったのですが、日本語学校での経験も踏まえ集中的に勉強した記憶があります。幸い合格できましたが、英語の試験で出てきた「受動態」が“受け身”の意味だと分からず、改めて日本語の難しさ？を痛感しました。

Q. 外交活動におけるご専門やお仕事の魅力は？

約 20 年間、中南米や中東との外交、安全保障・経済・軍縮などの分野別の業務などに携わってきました。「世界中の人々が笑顔になれるように」というのを自分の究極の目標として日々を過ごしています。国内外のいろいろな人々と会い、意見（時に激論）を交わし、日本と世界の将来を常に考え続けられる、何にも代えがたい仕事です。



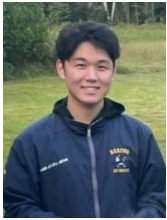
日本政府を代表して国連の
会合でステートメントを実施

Q. 在学中にやっておけばよかったと後悔していることは？

同級生との付き合いをもっと深めておけばよかったと思います。今でも連絡をとっている仲間はいますが、数は限られます。日本に帰国される方も米国に永住される方もいらっしゃるでしょうが、いろいろな意味で濃密な時間を共に過ごす仲間との関係は長く大事にしていなければならないと思います。

Q. 在校生へのメッセージ

海外での生活は楽しいこと、辛いこと様々にあると思います。その全てが皆さんにとって貴重な財産になります。勉強だけでなく、ぜひ多くのことを学び吸収して、素晴らしい未来に繋げていかれることを願っています。



とりい しすい
鳥居 士翠さん

在籍した時期：小学部2年生～中学部2年生（小1までニューヨークの補習校にも在籍）
現在：ダートマス大学1年生で、ニューハンプシャー州在住

Q. 日本語学校はどんな存在でしたか？楽しかった思い出は？

アメリカで日本人の両親から生まれ育って、日本語学校は当たり前の存在でした。毎週、休み時間や昼休み、放課後に友達としゃべったり、遊んだりしたのが、とても楽しかったです。運動会も、日本語学校を辞めてからも見に行くくらい好きでした。今でも多くの友人と毎年会っていて、日本語学校には感謝しかありません。

Q. 日本語学校での経験が役立っていると思うことは？

他の課外活動との両立が難しく、現地校9年生の時に日本語学校は辞めてしまいました。しかし、行けなくなることで日本や日本語に対する興味を持続する必要性を感じ、日本に関わる活動をできる範囲で始めました。コロナ禍では、オンラインで創作漢字のアートをシェアするオリジナル漢字コンテストを新たに開催しました。また、佐賀県の中学校の生徒に Zoom で英語を教える活動を日本語学校で知り合った友人と始めました。日本に対する熱量を発散するために、活動を創造する機会を得たことは、将来起業などをする時に役に立つと思っています。



オンラインで日本の中学生に
英語を教える鳥居さん（奥）

Q. オリジナル漢字コンテストについて教えてください。

コロナ禍で、ニューヨーク補習校時代からの友人とオンラインでできることを話し合っ、オリジナル漢字コンテストを思いつきました。日本語学校の漢字テストでよく、なんとなく覚えていた漢字が、本物と似ているけれど実在しないものになっていたことにヒントを得ました。今もダートマス大学で TA (Teaching Assistant) として添削をしていると、ユニークな「漢字もどき」を見かけて、やっぱり漢字は難しいけど面白いと思います。立ち上げ当初は応募がまったく来なくて、コンテストの宣伝をするのにとても苦労しました。ワシントン日本語学校の先生と運営委員会の方に助けてもらって告知できたおかげで、日本語学校の生徒からもたくさんの応募がありました。ありがとうございました。



本校生徒の受賞作品
テーマ「思いやり」

Q. 進学や将来の方向性を決める際、日本や日本語が影響を及ぼしましたか？

合格をいただいた大学から選ぶ際に、自分の専攻であるコンピューターサイエンス以外にも比較的自由に好きな科目をとることができる少人数制の大学にしました。それは、丁寧に教えてくれる環境下で、日本や日本語に関しても勉強をもう一度したかったからです。入学直後からダートマス大学の日本語クラスの TA の仕事をいただく機会にも恵まれました。

Q. 将来の目標を教えてください。

高校シニアの時から大学のレースカーチームに入ってレースカー作りに携わっており、エンジニアを目指しています。できれば、日本に関わる仕事か、起業をしたいと思っています。



今も自分なりの方法で
日本と関わり続ける

Q. 在校生へのメッセージ

僕は課外活動との時間が合わずに日本語学校を途中で辞めることになりましたが、日本や日本語に興味があれば、違う形で関わっていくことはできます。日本語学校で知り合った友人との繋がりを大切にしていってください。



YAMATO
TRANSPORT
U.S.A.

INTERNATIONAL
MOVING SERVICE



お荷物の多い方!時間のない方!
面倒なお引越は全てまかせて
ら〜くら〜!



安心

引越
らくらく 海外パック

箱に入らない家具や
自転車なども送りたい、だけど安く
済ませたい!そんな方へ



丁度
いい

ベーシックプラン

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をして節約!
すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



節約

単身プランSea

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をされる方
必要な荷物を
最短の所要日数でお届け



早い

単身プランAir

各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます /

www.yamatoamerica.com/cs/



フリーダイヤル 5 4 5 6 5 8
1-866-5-KIKOKU

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も!

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店

22930 Quicksilver Drive, Unit 115
Dulles VA, 20166

Phone: (703) 661-3501

Email: wasoperat@yamatoamerica.com

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。

2024 年度管理運営委員を募集しています！

管理運営委員会では、来年 3 月から 4 月にかけて複数の委員が退任するため、2024 年度より新たに運営委員を務めてくださる方を募集しています。募集は、学年代表を含む全部署が対象です。特に米国の法律に詳しい方、IT（情報技術）に詳しい方の応募をお待ちしています。

今年度は平常の業務に加えて、創立 65 周年記念事業実行小委員会を含め 4 つの小委員会を立ち上げ、各委員が意欲的に活動しています。様々な分野での高い専門性を持った委員が各案件に真摯に向き合い、議論を交わしています。本校の強みである多様性を感じたり、新しい出会いや学びがあったり、貴重な体験ができることは間違いありません。各部署の業務内容については、[本校ウェブサイト](#)をご参照ください。さらなる魅力ある学校作りのために、一緒に頑張りましょう。少しでも関心のある方やご質問のある方は uneiiinkai@wjls.org までお気軽にご連絡ください。

委員長からの報告



朝晩の冷え込みに早くもダウンジャケットを着たりしている今日この頃ですが、お変わりございませんか？寒暖差が激しく体調を崩しやすい季節、コロナやインフルエンザの感染数が増えているそうです。ご自愛ください。

さて、9 月 30 日は、晴天の下、大運動会を無事終えることができました。1 年ぶりに全校生徒がグラウンドに集合し、赤白勝利に向けて協力して競技に参加する姿に、運動会の意義を改めて感じることができました。準備や運営に携わってくださった学校関係者、保護者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

10 月 14 日の月例運営委員会では、年次総会で退任する委員の紹介、新たに就任する委員の承認を取り行いました。定例の校長先生からの校務報告の後、各小委員会からの活動報告と今後の予定や計画についての相談がありました。年次総会でもお話ししましたように、運営方針「持続可能な学校運営」を念頭に置きながら、今年度は、社会の急激な変化に柔軟に対応できる「魅力ある学校」を目指して、各小委員会、各部署で様々な新しい企画を打ち出しています。後期も運営委員会の活動を積極的に進めていきますので、どうぞご支援、ご協力をお願いいたします。

寄付にご協力ください！

Donate



ワシントン日本語学校では随時オンラインで寄付を募っております。ご協力いただける方は、本校ウェブサイトの[「寄付概要」ページ](#)にある左の画像をクリックしてください。



委員長： 辻川扶紀
副委員長： 小寺友美
総務部： 松林拓磨（部長）・大杉真名美・竹村聡子・鶴見圭祐・松田真実
財務部： グリフィン尚美（部長）・牛嶋 崇
教育人事部： 大島由美子（部長）・片田順子・栗原美恵・塩崎桃子・福嶋加代子
広報部： 河野真弓（部長）・竹内由美
学年代表： 大島千枝（低学年代表）・向山こずえ（中学年代表）・島未知子（高学年代表）

